

東京高専独自の海外インターンシップ。

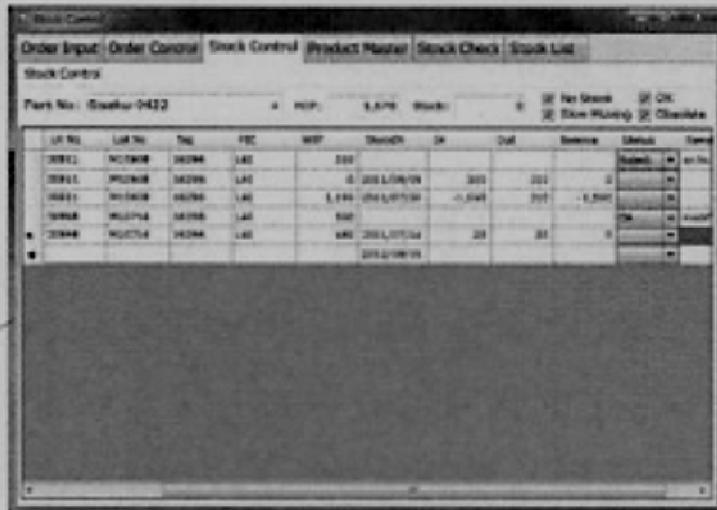
- 専攻科は4週間のインターンシップ。その一部は海外インターンシップ
- 異文化、歴史、習慣を理解し、一緒に仕事できるように。外国で一人でも逞しく仕事できるように
- 2010より。タイ、マレーシア、中国蘇州、中国深センへこれまでに約20名(専攻科生の3割)
- 海外インターンシップの意義、これからは、スタンフォード、ハーバードの例(アフリカに学生派遣 福田収一氏による)も参考にしたい

海外インターンシップ報告例

受け入れ企業の社長さんが
学生をよく見て効果的な課題
を用意（もちろん会社にもメ
リット）

マレーシア人のユーザーと
対話しながら、要求にあった
使い勝手の受注、在庫、納品管
理業務システムを開発（刷新）

対話に英語その他を駆使



Lot No.	Lot No.	Qty	P/C	W/P	Stock	In	Out	Balance	Status	Date
20211	NO.0008	10000	1.00	0.00	0	0	0	0	OK	2021/08/24
20212	NO.0008	10000	1.00	0.00	0	0	0	0	OK	2021/08/24
20213	NO.0008	10000	1.00	0.00	0	0	0	0	OK	2021/08/24
20214	NO.0008	10000	1.00	0.00	0	0	0	0	OK	2021/08/24
20215	NO.0008	10000	1.00	0.00	0	0	0	0	OK	2021/08/24

図3 開発した在庫管理システム

・NET アプリケーションによる社内業務システムの開発

機械情報システム工学専攻 1年 岡野 卓矢

実習企業名：Mori Hatsujo (M) Sdn Bhd

実習期間：平成24年8月24日～9月21日

1. 企業概要

Mori Hatsujo (M) Sdn Bhd (General Manager: 森浩志) は、マレーシアのセランゴール州スリケンバンガンに位置する企業で、株式の100%を森発條株式会社（日本）が保有する、森発條株式会社の子会社である。主に音響・映像機器向けの金属製パネの製造を行っており、取引先企業にはソニー株式会社やJVCケンウッド株式会社等がある。様々な線径のパネを製造しているだけでなく、顧客ニーズに特化した製品の製造も行っている。

2. 実習内容

実習先企業の主な業務はパネの製造であるが、本実習では製造工程に関わるのではなく、社内で用いられる業務システムの刷新を行った。

3. 実習総括

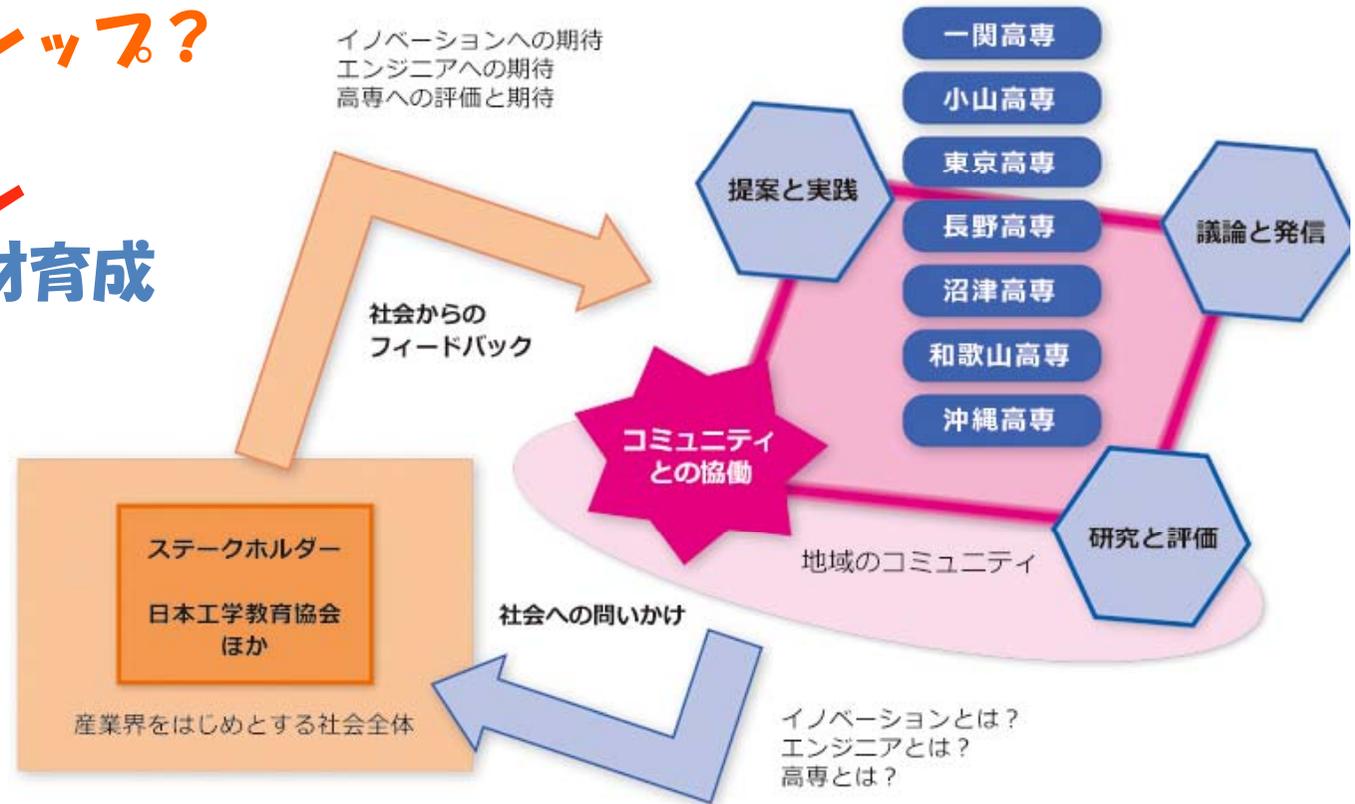
本実習では、NET アプリケーションによる社内業務システムの開発を行った。実習当初は、VB6で開発された従来システムの“移植”が主と考えていたが、ユーザーである従業員とのやりとりから徐々に新しい要求が見え、最終的にはいくつもの機能や操作性が改善されたように思う。 本実習で得られたことは、データベースを利用するシステムの開発ノウハウの獲得やプログラミングスキルの向上だけでなく、異なる価値観を持つユーザー（今回は、マレーシア現地の従業員）との対話のあり方とその重要性の理解であろう。

課題と感想

- 学生の主体性を促す工夫
- 受け入れ企業確保の苦勞
東京高専の場合
優れたコーディネーターのおかげ(地元信用金庫出身)
1/3は技術懇談会会員企業が受入
(地域の中小企業が参加し日頃から東京高専を
支援してくれている一般社団法人組織)
- 受け入れ企業も参加の学校内報告会
報告書冊子公表
学生一人一人の感想、聞き入ってしまうほど良い

新しいインターンシップ?

社会実装インターン イノベーション人材育成 に向けて



平成 24 年度「大学間連携共同教育推進事業」

K O S E N 発 イノベティブ・ジャパン プロジェクト

一関高専・小山高専・東京高専・長野高専・沼津高専・和歌山高専・沖縄高専

INNOVATIVE

INNOVATIVE JAPAN PROJECT by KOSEN